

音 楽
-----

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称	教科書名
17 教 出	小学音楽 音楽のおくりもの
27 教 芸	小学生の音楽

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点	視点	方法
(ア) 基礎・基本の定着	① 題材の目標の示し方	目標の表記の仕方及び目標達成のための支援
	② 歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫	歌唱教材の扱い
	③ 器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫	リコーダーの扱い
	④ 我が国の音楽に関する内容の扱い	学年ごとの鑑賞曲, 器楽表現として扱う和楽器, 歌唱教材
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 興味・関心を高めるための工夫	多様な音楽活動のための資料, 音楽と生活とのかかわりについての記述等
	⑥ 「音楽づくり」の学習の扱い	「音楽づくり」に関する学習過程の示し方
	⑦ 表現と鑑賞の関連	表現と鑑賞の関連の扱い方
(ウ) 内容の構成・配列・分量	⑧ 題材や資料等の配列	歌唱及び器楽における系統的な扱い
	⑨ 発展的な学習に関する内容の記述の工夫	題材及び学習内容の構成, 発展的な学習内容の表記等
(エ) 内容の表現・表記	⑩ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用	キャラクターやマーク等の活用, 楽譜の扱い
(オ) 言語活動の充実	⑪ 鑑賞領域における言語活動の工夫	鑑賞領域における話し合う視点の記述

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①題材の目標の示し方
方法	目標の表記の仕方及び目標達成のための支援

	目標の表記の仕方及び 目標達成のための支援	第6学年「音の重なりや和声の響き」を扱った題材
教 出	<p>見開き左ページ上に学習目標を示し、その文中にある「音楽を形づくっている要素」は、色を変えて示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標の表記の仕方 題材名, 学習目標, [共通事項] の表記</li> <li>○ 目標達成のための支援 枠囲みによる, 音楽用語の説明</li> <li>記号による, 演奏の仕方の説明</li> </ul>	<p>第6学年「音の重なりや和声の響き」を扱った題材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材名: 「ひびき合いを生かして」 学習目標: せん律の動きや重なりをきき合って演奏しよう。 [共通事項]: 音の重なりや和声のひびき 縦と横の関係 反復・変化 拍の流れ</li> <li>○ 音楽用語の説明: カノンって何? 一つのせん律を, いくつかのパートが一定の間かくをあけて演奏を始め, 追いかけるように進む音楽です。あとのパートは同じ音からだけでなく, ちがう高さの音から始めることなどもあります。</li> <li>○ 演奏の仕方の説明 3つのグループがア～オの旋律を, どのような順番で演奏し, どのような音の重なりになっているか, 記号を使って説明している。</li> </ul>
教 芸	<p>見開き左ページ上に学習目標を示し, 更に学習展開への支援となる活動文や活動のヒントなどを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標の表記の仕方 題材名, 学習目標, [共通事項] の表記</li> <li>○ 目標達成のための支援 支援となる活動文, 枠囲みによる活動のポイント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材名: 「いろいろな音のひびきを味わおう」 学習目標: パートの役割や楽器の特徴を生かして合奏しましょう。</li> <li>○ 支援となる活動文: それぞれのパートにふさわしい楽器を選び, 全体のひびきを味わいながら, 合奏しましょう。 枠囲み: パートの役割を考えよう パートの役割には, 次のようなものがあります。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">主な旋律</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">かざりの旋律</div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ひびきを豊かにする和音</div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ひびきを支える低音</div>  それぞれのパートの役割について考えて, 演奏に生かしましょう。</li> </ul>

【音楽】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫
方法	歌唱教材の扱い

歌唱教材「ゆかいに歩けば」(第4学年)の例	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材における扱い</li> <li>○ 学習の目標</li> <li>○ 歌詞</li> <li>○ 速度</li> <li>○ 合唱の扱い</li> <li>○ 発声の扱い</li> </ul>
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材「せんりつと音色」の中の歌唱教材として扱っている。</li> <li>○ 学習の目標「ひびきを大切にしてい歌い方をくふうしよう」及び扱う〔共通事項〕の要素について提示</li> <li>○ 1, 2番</li> <li>○ ♩=116 ぐらい</li> <li>○ 12小節分が二部合唱になっている。</li> <li>○ 歌い方のポイントの説明, 歌っている姿の写真を提示               <ul style="list-style-type: none"> <li>・かたを楽にして, おなかに手を当てながら歌ってみよう。</li> <li>・「ゆかいに歩けば」の前半の部分をピ, ポ, マなどの言葉で, 歌ってみよう。</li> </ul> </li> </ul>
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材における扱い</li> <li>○ 学習の目標</li> <li>○ 歌詞</li> <li>○ 速度</li> <li>○ 合唱の扱い</li> <li>○ 発声の扱い</li> </ul>
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」の中の歌唱教材として扱っている。</li> <li>○ 学習の目標「せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。」及び目標達成のための支援となる活動文を提示</li> <li>○ 1～3番</li> <li>○ ♩=116～126</li> <li>○ 10小節分が二部合唱になっている。</li> <li>○ 歌い方のポイントの説明, 歌っている姿の絵を提示               <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッカートのところは, わらったときのようなおなかの動きを感じて, 軽くはずむように歌いましょう。また, 言葉をはっきりと発音して歌いましょう。</li> </ul> </li> </ul>

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫
方法	リコーダーの扱い

第3・4学年におけるリコーダー学習の具体例		
教 出	○リコーダー学習の導入(第3学年)	・リコーダーのつくりを知る。→鑑賞曲を聴く。→「シ」の音をふく。
	○学習する音の順序	・第3学年 シ→ラ→ソ→ $\bar{\text{ド}}$ → $\bar{\text{レ}}$ →ファ→ミ→レ 第4学年 $\bar{\text{ミ}}$ → $\sharp\text{ソ}$ → $\bar{\text{ド}}$
	○各音の指使いの説明	・「シ」「ラ」「ソ」「 $\bar{\text{ド}}$ 」「 $\bar{\text{レ}}$ 」までは、階名・五線譜・歌口を下側にした子どもの目線でのリコーダーのイラストを加えている。 ・リコーダーを構えた時の子どもの目線や横から見た写真を掲載している。
	○息の入れ方・タンギングの説明	・大きなしゃぼん玉をつくる時のような息でふくよう説明している。 ・第3学年の導入で、タンギングを「トゥ」「ル」と発音するように、また第4学年で高い音をふく時のタンギングを「ティ」と発音するように説明している。
教 芸	○リコーダー学習の導入(第3学年)	・鑑賞曲を聴く。→リコーダーで「シ」の音をふく。
	○学習する音の順序	・第3学年 シ→ラ→ソ→ $\bar{\text{ド}}$ → $\bar{\text{レ}}$ →ファ→ミ→レ→ $\bar{\text{ド}}$ 第4学年 $\bar{\text{ミ}}$ → $\bar{\text{ファ}}$ → $\bar{\text{ソ}}$
	○各音の指使いの説明	・「シ」「ラ」「ソ」「 $\bar{\text{ド}}$ 」「 $\bar{\text{レ}}$ 」までは、階名・五線譜・歌口を下側にした子どもの目線でのリコーダーのイラストを加えている。 ・「シ」「 $\bar{\text{レ}}$ 」では、リコーダーの構えた時の横からの写真と子どもの目線の写真で説明している。
	○息の入れ方・タンギングの説明	・「フー」と「トゥー」を比較してタンギングを習得させている。 ・第3学年の導入で、タンギングを「トゥ」と発音するように、また第4学年で高い音をふく時タンギングを「ティ」と発音するように説明している。

【音楽】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	④我が国の音楽に関する内容の扱い
方法	学年ごとの鑑賞曲，器楽表現として扱う和楽器，歌唱教材

	学年	鑑賞曲，和楽器，歌唱教材	
教 出	1	鑑賞曲	・わらべうた（「うちのうらのくろねこが」「げんこつやまのためきさん」「たけのこめだした」）
		歌唱教材	・共通教材：「ひらいたひらいた」「かたつむり」「うみ」「ひのまる」 ・きせつのうた：「たなばたさま」「たきび」「おしょうがつ」「うれしいひなまつり」
	2	鑑賞曲	・日本のたいこ
		和楽器	・たいこ
		歌唱教材	・共通教材：「かくれんぼ」「虫のこえ」「夕やけこやけ」「春がきた」 ・しぜんのうた：「つき」「とんぼのめがね」「雪」
	3	鑑賞曲	・日本や世界の子ども之歌（十五夜さんのもちつき）
		歌唱教材	・共通教材：「春の小川」「茶つみ」「うさぎ」「ふじ山」 ・こころのうた：「あの町この町」「七つの子」「まっかな秋」
	4	鑑賞曲	・「さくら変そう曲」 ・「葛西ばやし」
		和楽器	・大だいこ ・しめだいこ
		歌唱教材	・共通教材：「さくらさくら」「まきばの朝」「とんび」「もみじ」 ・きせつのうた：「どこかで春が」「みかんの花さくおか」「里の秋」
	5	鑑賞曲	・日本の音楽（「会津磐梯山」「音戸の舟歌」）・長唄「越後獅子」から ・「京の夜」
		和楽器	・しの笛
		歌唱教材	・共通教材：「こいのぼり」「子もり歌」「冬げしき」「スキーの歌」 ・山田耕筰，中田喜直のうた：「ペチカ」「待ちぼうけ」「星とたんぼぼ」 「ちいさい秋みつけた」 ・にっぽんのうた みんなのうた：「赤とんぼ」
	6	鑑賞曲	・「春の海」
		和楽器	・箏
		歌唱教材	・共通教材：「おぼろ月夜」「われは海の子」「越天楽今様」「ふるさと」 ・滝廉太郎のうた：「荒城の月」「箱根八里」



【音楽】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑤興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	多様な音楽活動のための資料，音楽と生活とのかかわりについての記述等

	多様な音楽活動のための資料 音楽と生活とのかかわりに ついての記述	具体例
<b>教 出</b>	○ 多様な音楽活動のための資料 各学年とも，表現活動のため に曲集として「音楽ランド」を 設けている。	各学年で掲載されている曲数 第1学年：11    第2学年：11    第3学年：9 第4学年：14    第5学年：13    第6学年：15
	○ 音楽と生活とのかかわりに ついての記述 身の回りの物から音楽につ ながる活動を含む題材や歌手 等からのメッセージを掲載し ている。	第2学年    題材：「いい音見つけて」 第4学年    巻頭：「うたは心をつなぐ」 第5学年    巻頭：「心から心へ音楽とふれあうとき」 第6学年    巻頭：「ひびきに心をのせて」
<b>教 芸</b>	○ 多様な音楽活動のための資料 各学年とも，表現活動のため に曲集として「みんなで楽し く」を設けている。	各学年で掲載されている曲数 第1学年：12    第2学年：5    第3学年：9 第4学年：7    第5学年：9    第6学年：9
	○ 音楽と生活とのかかわりに ついての記述 身の回りの物から音楽につ ながる活動を含む題材や，巻頭 「音のプリズム」の中で，生活 と音楽とのかかわり，自分と音 楽とのかかわりに気付かせる ような写真等を掲載している。	第3学年    巻頭：「ようこそリコーダーの世界へ」 第4学年    巻頭：「風の音がきこえますか」 第5学年    巻頭：「メッセージを送る不思議な木」 第6学年    巻頭：「音楽で思いを伝えよう」

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥「音楽づくり」の学習の扱い
方法	「音楽づくり」に関する学習過程の示し方

	「音楽づくり」に関する学習過程の示し方	第2学年における具体例
教 出	<p>・「音楽づくり」の学習過程を記述している。</p>	<p>題材「おまつりの音楽」</p> <p>目標「おまつりの音楽をつくろう」</p> <p>○ 「音楽づくり」の学習過程の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たいこのリズムとかけ声で、みんなのおまつりの音楽をつくろう。</li> <li>・リズムをえらんで書きとめよう。</li> <li>・「ソーレー」「セヤッ」「ワッショイ」などからかけ声をえらんで書きとめよう。</li> </ul> <p>○ 音符カードの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6種類のリズムパターンをカードに示している。</li> </ul> <p>○ 音楽の仕組みに着目させる示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ページの下に注釈に、「はくのながれにのって、①と②をかわりばんこによびかけ合うようにえんそうしよう。はじまりとおわりに合図のかけ声を入れると楽しいね。」と示している。</li> </ul>
教 芸	<p>・「音楽づくり」の学習過程を記述している。</p>	<p>題材「ひょうしをかんじてリズムをうとう」</p> <p>目標「くりかえしをつかって音楽をつくりましょう。」</p> <p>○ 「音楽づくり」の学習過程の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アからカのカードをつかって、リズムをつくりましょう。つくるときには、くりかえしをつかきましょう。</li> </ul> <p>○ 音符カードの示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6種類のリズムパターンをカードに示している。</li> </ul> <p>○ 音楽の仕組みに着目させる示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターによる吹き出しで、「ともだちは、どこにくりかえしをつかっているかな」と示している。</li> </ul> <p>○ 例示のしかた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くりかえしのれいとして、「1まい目と2まい目におなじカードをつかいました。」「1まい目と3まい目」におなじカードをつかいました」と示し、リズム例を示している。</li> </ul>

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑦表現と鑑賞の関連
方法	表現と鑑賞の関連の扱い方

	表現と鑑賞の関連の扱い方	第2学年における具体例
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鑑賞から歌唱, 器楽の活動につなげ, 鑑賞でまとめている。</li> <li>○ 繰り返し, リズムに着目させている。</li> </ul>	<p>○ 題材名「ようすを 音楽で」</p> <p>活動(1) どんなようすを音楽があらわしているかな</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「そりすべり」の鑑賞</li> </ul> <p>活動のポイント: くりかえしきこえてくる音やリズムは, 何をあらわしているかな。とちゅうで出てくる音にもちゅういしてきこう。</p> <p>活動(2) どんな かんじで 歌おうかな</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「こぎつね」の歌唱</li> </ul> <p>活動のポイント: くりかえすところの, 歌い方や強さをくふうしてみよう。</p> <p>活動(3) 汽車の走るようすを 音楽で あらわそう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「汽車は走る」の器楽</li> </ul> <p>活動のポイント: くりかえすせんりつやリズムを生かして, はやさをかえながら, えんそうしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「しゅっぱつ」を鑑賞し, まとめる。</li> </ul>
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鑑賞から歌唱, 器楽演奏の活動につなげている。</li> <li>○ 場面の感じの違いに着目させている。</li> </ul>	<p>○ 題材名「ようすを おもいうかべよう」</p> <p>活動(1) 人形のようすをおもいうかべながらききましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「人形のゆめと目ざめ」の鑑賞</li> </ul> <p>音楽のかんじにあわせて, 体をうごかしながらききましょう。音楽のかんじがかわるところに気をつけてききましょう。</p> <p>活動(2) かしをたいせつにしてうたいましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「海とおひさま」の歌唱</li> </ul> <p>1ばん, 2ばん, 3ばんのかしからそれぞれのようすをおもいうかべて, 海の気もちをかんがえながらうたいましょう。</p> <p>活動(3) 小ぎつねのようすをおもいうかべながらうたいましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「小ぎつね」の歌唱と器楽</li> </ul> <p>こえのかんじやつよさをくふうしてうたいましょう。うたをドレミでおぼえたら, けんばんがつきでひききましょう。</p>

【音楽】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧題材や資料等の配列
方法	歌唱及び器楽における系統的な扱い

		歌唱及び器楽における系統的な扱い	具体例
教出	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2学年から合唱を導入し、二部合唱を中心とした配列をしている。</li> <li>○ 第5学年から三部合唱を導入している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二部合唱導入曲 第2学年：「春がきた」「ラララ歌おう」「モーニングチャチャチャ」(部分二部合唱)</li> <li>○ 三部合唱曲 第5学年：「こげよマイケル」 第6学年：「ロックマイソウル」「宝島」</li> </ul>
	器楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 低学年で打楽器、鍵盤楽器の基礎的な奏法について巻末に掲載している。</li> <li>○ 第2学年から合奏曲を配列している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 奏法を学ぶ楽器名 第1学年：けんばんハーモニカ、ハーモニカ、おおだいこ、こだいこ、てつきん、もつきん、カスタネット、タンブリン、すず、トライアングル</li> <li>第2学年：グロッケン、ビブラフォーン、マリンバ、ギロ、ウッドブロック、シンバル、鍵盤楽器</li> <li>第3学年：クラベス</li> <li>第4学年：シェーカー、アゴゴー、フロアトム</li> <li>第2学年：「アンダルコの歌」 第3学年：「せいじゃの行進」「パフ」「ミッキーマウスマーチ」 第4学年：「ラクンパルシータ」「アラホーンパイプ」「魔法のすず」 第5学年：「風とケーナのロマンス」「ルパン三世のテーマ」「エイトメロディーズ」「ゴジラ」 第6学年：「マルセリーノの歌」「カノン」「スワンダフル」「八木節」</li> </ul>
教芸	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3学年から合唱を導入し、二部合唱を中心とした配列をしている。</li> <li>○ 第5学年から三部合唱を導入している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二部合唱導入曲 第3学年：「歌おう声高く」(部分二部合唱)</li> <li>○ 三部合唱曲 第5学年：「こげよマイケル」「A Good day」 第6学年：「星の世界」「ふるさと」</li> </ul>
	器楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 低学年で打楽器、鍵盤楽器の基礎的な奏法を掲載している。</li> <li>○ 第1学年から合奏曲を配列している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 奏法を学ぶ楽器名 第1学年：カスタネット、タンブリン、すず、トライアングル、けんばんハーモニカ、ハーモニカ、てつきん、ウッドブロック</li> <li>第2学年：オルガン、大だいこ、小だいこ、木きん</li> <li>第4学年：ギロ、マラカス</li> <li>第1学年：「こいぬのマーチ」 第2学年：「こぐまの二月」「アイアイ」 第3学年：「ゆかいな木きん」「エーデルワイス」「ミッキーマウスマーチ」「パフ」 第4学年：「茶色の小びん」「チキチキバンバン」 第5学年：「リボンのおどり」「威風堂々」「キリマンジャロ」「生命のいぶき」 第6学年：「ラバースコンチェルト」「雨のうた」「風を切って」「ALWAYS 三丁目の夕日」「コンドルは飛んで行く」</li> </ul>

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑨発展的な学習に関する内容の記述の工夫
方法	題材及び学習内容の構成，発展的な学習内容の表記等

	題材及び学習内容の構成 発展的な学習内容の表記	第5学年における具体例
教 出	○ 題材及び学習内容の構成 ・複数曲で題材構成している部分と，弾力的な運用が可能な部分で構成している。	<p>【複数曲で題材構成している部分】 題材数7 「音の重なりとひびき」「アンサンブルのみりよく」 「ひびき合いを生かして」 「日本の音楽・世界の音楽」「豊かな表現を求めて」 「音楽のききどころ」「気持ちを合わせて」</p> <p>【弾力的な運用が可能な部分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音のスケッチ 「いろいろな声で音楽をつくろう」 「インターロッキングの音楽をつくろう」</li> <li>・音楽ランド（曲集 掲載曲数13）</li> <li>・資料（掲載内容数5）</li> <li>・変奏曲を楽しもう 「ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」</li> <li>・日本の楽器をたずねて 「長唄『越後獅子』から」「京の夜」</li> <li>・山田耕筰，中田喜直のうた（掲載曲数4）</li> </ul>
	○ 発展的な学習内容の表記 ・マークを付し，目次に示している。	<p>「はってん」として，第4学年から，各学年の学習指導要領に示されていない内容に関して示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全休ふ …<math>\frac{3}{2}</math>の4倍の長さを休む（1小節休むときにも使う）</li> </ul>
教 芸	○ 題材及び学習内容の構成 ・複数曲で題材構成している部分と，学習したことを補完する部分で構成している。	<p>【複数曲で題材構成している部分】 題材数7 「ゆたかな歌声をひびかせよう」 「いろいろな音のひびきを味わおう」 「和音の美しさを味わおう」「曲想を味わおう」 「詩と音楽を味わおう」「日本と世界の音楽に親しもう」 「心をこめて表現しよう」</p> <p>【補完する部分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌いつごう 日本の歌（掲載曲数2）</li> <li>・みんなで楽しく（曲集 掲載曲数9）</li> <li>・ことに親しもう</li> <li>・鑑賞資料「弦楽器」</li> <li>・資料（掲載内容数3）</li> <li>・ふり返りのページ</li> </ul>
	○ 発展的な学習内容の表記 ・マークを付し，巻末資料に示している。	<p>「ステップアップ」として，第3学年から，各学年の学習指導要領に示されていない内容やより知識を広げる活動を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「イ短調の音階」「へ長調の音階」「ニ短調の音階」「全休符」 「2分休符」「16分休符」</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑩本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用
<b>方法</b>	キャラクターやマーク等の活用，楽譜の扱い

	キャラクターやマーク等の活用，楽譜の扱い	具体例
教出	○ キャラクターやマーク等の活用 ・マークを付し，学習の振り返りや資料へのリンクを紙面上で示している。	マークの内容 鑑賞 にっぽんのうた みんなのうた 音楽のもと（音楽を形づくっているもの） 活動のポイント 前の学習を思い出そう。 他のページも見てみよう。 小学校の「音楽」で学習する内容ではありませんが，覚えて使ったりしてみよう。 共通教材
	○ 階名による視唱奏のための楽譜の扱い	第1学年：五線のうちの第一線と第二線を示し，階名をたま，休符をひし形で示している。 第2学年：五線で示し，音符のたまに階名を示している。 第3学年：「楽ふとドレミ」の題材で，階名を含め，楽譜についての学習を掲載している。
教芸	○ キャラクターやマーク等の活用 ・活動の手助けとなるヒントをキャラクターに発言させている。 ・マークを付し，学習の内容を示している。	キャラクターの発言の例（第6学年） 「楽器が増えていくにつれて，オーケストラのひびきは，どのように変わっていくのかな。」（17ページ） 「15ページを参考にして，パートの役割について話し合ってみよう。」（32ページ） マークの内容 こころのうた（共通教材） 鑑賞の学習 音や音楽をつくる学習
	○ 階名による視唱奏のための楽譜の扱い	第1学年：はじめは一本の帯の中に，階名をたま，休符を点で示している。「どれみでうたったりふいたりしよう」の題材で，五線のうちの第一線と第二線を示し，階名をたま，休符を点で示している。 第2学年：最初の4曲は五線のうちの第一線と第二線で示し，後に五線に移行している。音符のたまに階名を示している。 第3学年：初めの2曲までは，部分的に階名をたまに示している。最初の題材の中で，階名を含め，楽譜についての学習を掲載している。

【音楽】

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑪鑑賞領域における言語活動の工夫
<b>方法</b>	鑑賞領域における話し合う視点の記述

	話し合う視点の記述	第4学年における具体例
<b>教 出</b>	<p>○ 話し合う視点の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞したことを記録する活動の中で、聴き取り方と話し合いの視点を記述している。</li> </ul>	<p>題材「音楽のききどころ」</p> <p>活動 曲の流れを感じ取り、全体を味わってきこう</p> <p>教材曲「ノルウェー舞曲 第2番」</p> <p>○ 聴き取り方と話し合いの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽に合わせて体を動かしたり、歩いたり、しきの動きをしたりしながらきいてみよう。</li> <li>気がついたことや、感じ取ったことを書きとめよう。</li> <li>上に書いたことをもとに、この曲のよいな、おもしろいなど思ったところなどを友達に伝えよう。</li> </ul>
<b>教 芸</b>	<p>○ 話し合う視点の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞したことをまとめる活動の中で、聴き取り方と話し合いの視点を記述している。</li> </ul>	<p>題材「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」</p> <p>活動 せんりつのとくちょうを感じ取りながらききましょう。</p> <p>教材曲「白鳥」「美しきロスマリン」</p> <p>○ 聴き取り方と話し合いの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲の感じを味わいながらききましょう。</li> <li>曲の感じとそれを生みだしているとくちょうをまとめましょう。</li> <li>&lt;キャラクターの吹き出し&gt;ふんいきのちがうほかの曲とききくらべてもいいね。</li> </ul>